

2016年度（平成28年度）事業計画
(2016年4月1日から2017年3月31日)

1 学術研究会、学術講演会の開催

(1) 第57回日本神経学会学術大会を次のとおり開催する。

- ・大会長 梶 龍児 徳島大学大学院医歯薬学研究部医科学部門内科系臨床神経科学分野 教授
- ・会 期 2016年5月18日（水）から5月21日（土）までの4日間
- ・場 所 神戸コンベンションセンター（神戸国際会議場・神戸国際展示場）・神戸ポートピアホテル

(2) 学術大会運営について

① 第61回学術大会大会長を選出する。

② 第58回学術大会（大会長 宇川義一福島県立医科大学医学部教授）の準備を進める。第58回学術大会は、WCN2017の一部として同じ会場で並行して開催される予定である。

また、第59回学術大会および第60回学術大会の運営を委託する会社の選定を行う。

(3) 地方会開催

各地方会を次のように開催する。

北海道地方会（2回）、東北地方会（2回）、関東・甲信越地方会（4回）、東海・北陸地方会（3回）、近畿地方会（3回）、中国・四国地方会（2回）、九州地方会（4回）

2 学会誌の発行

(1) 臨床神経学の発行

機関誌「臨床神経学」56巻4号～57巻3号の全てを通常号発行する。また、学術大会抄録はサプリメントとして発行する。いずれも電子ジャーナルである。

(2) 英文機関誌の発行

英文機関誌「Neurology and Clinical Neuroscience」を、隔月ごとに電子ジャーナルで発行する。

(3) 診療ガイドライン作成

① 新規のガイドラインとして作成を進めてきたジストニアおよび単純ヘルペスウイルス脳炎の2つのガイドラインを発行するとともに、脊髄小脳変性症・多系統萎縮症診療ガイドラインの作成を引き続き進める。

② また、2010年から2012年にかけて出版した認知症、パーキンソン、多発性硬化症／視神経脊髄炎、てんかんの各診療ガイドラインおよび神経疾患の遺伝子診断ガイドラインなどの5つのガイドラインを出版する。

3 啓発活動

(1) 市民公開講座を次の予定で開催する。

第57回学術大会開催時市民公開講座

- ・ 2016年5月22日（日）徳島大学大塚講堂

(2) 広報活動

新たに会員向けのニューズペーパーを発行する（2016年度は創刊号と2号）。また、学会ホームページやメディカルトリビューンを利用するなど広報活動の充実を図る。

(3) 神経内科フォーラムの活動支援

昨年度に引き続き、神経内科と神経疾患を広報する新聞広告の掲載や神経内科フォーラムの開催を支援する。

4 研究奨励

(1) 日本神経学会賞および楡林賞を授与する。

5 研究推進

(1) 将来構想の検討

将来構想委員会を中心に、「神経疾患克服に向けた研究推進の提言」の見直しなど、本学会での研究活動に関する将来構想についての検討を進める。

(2) 他団体との連携協力

神経内科学・脳科学に関する研究を推進するために、日本学術会議、日本医学会、日本脳科学関連学会連合、そして関連する他学会等と連携・協力して活動する。

6 専門医及び教育施設の認定

(1) 専門医

① 第42回専門医試験を次の予定で実施する。

- ・ 第1次試験 2016年6月11日（土）（東京大学教養学部駒場キャンパス）
- ・ 第2次試験 2016年7月9日（土）（日本都市センター会館）

② 第22回専門医認定更新を実施する。

(2) 教育施設

① 施設認定更新

2017年4月1日から認定する施設認定について、認定手続き（新規及び更新）を実施する。

② 指導医認定

2017年4月1日から認定する指導医認定を実施する。また、2016年3月31日で認定期間が満了となる指導医の認定更新を実施する。

(3) 専門医制度

専門医制度の改革に対応するため、神経内科領域における専門医育成のための教育・研修カリキュラムおよびプログラムの作成作業を進める。

7 会員を対象とした教育及び啓発活動

(1) 生涯教育講演会

- ① 第57回学術大会開催時に第13回生涯教育セミナー（レクチャーおよびハンズオンセミナー）を開催する。
- ② Neuromuscular Conference 共催でハンズオンセミナー「神経・筋生検」を実施する。
- ③ 以下の地区で生涯教育講演会を開催する。
北海道地区、東北地区、関東・甲信越地区、東海・北陸地区、近畿地区、中国・四国地区、九州地区。

(2) 専門医育成教育事業

- ① 第57回学術大会開催時に第7回専門医育成教育セミナーを開催する。
- ② 2016年12月11日（日）に千葉県船橋会場で第8回専門医育成教育セミナーを開催する。

(3) 卒前・初期臨床研修教育事業

医学生を対象にしたアンケート調査を行い、神経内科への入局者増加対策を検討する。

(4) 教育コンテンツ配信事業

- ① 第57回学術大会時に開催する生涯教育セミナー（レクチャー）、専門医育成教育セミナーを収録し配信する（学会ホームページ会員専用ページから閲覧）。
- ② 神経救急に必要なレスピレータ操作・管理などのコンテンツを制作し配信するとともに、教材用画像収集・配信システムの整備に着手する。

(5) メディカルスタッフ教育事業

第57回学術大会開催時に、メディカルスタッフを対象とした教育セミナーを、開催日を2日に拡充して実施する。

(6) Excellent Teacher 表彰事業の実施

学会主催の教育セミナーの講師や教育用動画制作で教育活動に貢献した会員を表彰する。

(7) 会員の研修支援事業の実施

会員の国内での研修を支援する事業を開始する。

(8) 専門医テキスト（仮称）の作成

主に専門医を目指す医師を対象とするが、生涯教育にも役立てること目的としたテキストを出版する。

(9) 学術大会時の教育プログラムについて

第57回学術大会時の教育プログラムの実施状況を踏まえて、今後のあり方について検討する。

8 診療向上のための活動

(1) 診療報酬改訂への取り組み

2018年度（平成30年度）診療報酬改訂のための準備を行う。

(2) 新薬承認審査の促進等に関する要望活動

神経疾患患者に対する医療の質の向上を図る一環として、必要に応じて新薬承認審査の促進等に関する要望活動を積極的に行う。

9 第23回世界神経学会議（WCN2017）開催準備

WFNと連携してWCN2017開催の準備をより本格的に進めるとともに、国内外への広報活動を行う。

10 国際協力

① アジア地域の神経内科医との交流を通して神経学の向上に寄与する事業を継続する。今年度はミャンマー（ヤンゴン）でハンズオンセミナーを実施する（2日間）。

② East Asian Neurology Forumを、第57回学術大会時に開催する。

③ WCN、AOANなど国際学術集会に学会員が積極的に参加するよう広報する。

11 その他の事業

① 災害支援ネットワークシステムの充実

災害支援ネットワークの質的向上を図るとともに、災害発生時の対応マニュアルの作成を進める。

② キャリア形成促進事業

学術大会時に女性医師間の情報交換の場や展示ブースの設置、講演活動など女性を対象にした事業を実施する。また、若手女性医師による他施設訪問事業を通してキャリア継続に関する先進的取り組みを収集して公表する活動を行う。

③ アーカイブズ資料収集・管理事業

新たに、WCN2017の記録準備など学会のアーカイブズ資料の収集・管理事業を開始する。

12 一般社団法人としての運営

① 代議員選挙

2017年の学術大会終了後から任期が始まる代議員の選挙を行う。

② 日本医学会連合との連携

一般社団法人日本医学会連合に協力し連携を進める。